

新年号

Y-MOT ネットワーク通信 Vol. 6

(山形大学大学院理工学研究科ものづくり技術経営学専攻)

『ものづくり技術経営学専攻(MOT)の近況』

ものづくり技術経営学専攻 専攻長/教授 松田 修



Y-MOTネットワークの会員の皆様、明けましておめでとつございます。本年も何卒、宜しくお願い申し上げます。



啓翁桜
(けいおうざくら)

さて、昨年は、平成20年に創設された「とうほくミヨココース」(全員中国より留学生)の一期生が全員修士課程を修了し、国内企業への就職も100%決まりました。1日ホームステイ等のきめ細かなサポート体制が功を奏し、半数が山形県内又は県内企業関連の会社です。当初は日本語が殆ど話せませんでしたが、当MOTに開設された日本語関連科目(指導教員:仁科准教授及び楊講師)履修により、9カ月後には全員日本語能力試験1級を取得することができました。また、「とうほくミヨココース」及び「食品創製コース」はまもなく、仕分けや補助事業としての期限を迎えますが、両コースともに自立化するためにはどのようにすべきかを、コアメンバーで昼休み、昼食を取りながら、侃々諤々と議論してまいりました。いわばMOT自体のMOTです。

主な課題は学長、学部長方針を基本に「日本一の技術経営人材育成」を目指し、内外情勢と流行と不易を勘案し、以下の通りです。

- ① 自立のための産官連携強化および戦略の策定
- ② 学生派遣元が満足するカリキュラムと指導内容
入学後のオリエンテーションで教員がプレゼンテーションを実施し、学生が6カ月かけて指導教員を選ぶこととしました。また、企業から派遣された学生の場合、派遣元に教員が赴き、三者面談を実施して、関係者で研究計画内容を共有し、より意味的価値のある専攻科を目指します。また、来年度より、「技術経営基礎論A、B」を中心的な必修科目とし、技術経営学の基本中の基本を習得して、各々の必要な選択科目を履修するようなカリキュラムにします。
- ③ 外部のみならず内部からでも「見える化」
まずはMOTの複雑な事務処理手続きもSOP化から開始します。
- ④ English対応のE-learningを利用した入試、講義
昨年、始めて渡日前入学試験をインターネット回線を利用して実施しました。



生産革新の演習の様子(学部卒の学生、留学生(中国、ベトナム)、社会人の混成チーム)

- ⑤ 留学生増加のための他機関・団体との連携
- ⑥ コンソーシアム・卒業生組織・活動の強化
- ⑦ 情報発信、HPの常時更新、宣伝活動
基本的には毎週HPを更新しておりますので、是非ご覧下さい。(左記)

<http://www.yz.yamagata-u.ac.jp/mot/index.html>
⑧ MOTのMission/Vision/コース名称の見直し

ものづくりが今後も適切な名称か等も含めて見直しの最中です。

⑨ 荒川区MOT開講準備

荒川開講のみならず、新しいコースの追加も現在検討中で関係先と調整中です。

この激動の時代こそ、産業界を担う人材の育成が最重要課題であることはいうまでもないことです。教職員一丸となって課題解決に向かって、MOTのMOTを実行してまいります。一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

『私とMOT』 シリーズ編

MOT四期生

山形農業会議

五十嵐 淳



MOT入学の動機は？

「新しい未来への可能性を、直感した」のが、入学した一番の動機です。
 「農業を新しい産業へ」、そのためにもっとスキルを高めたいと考えていた自分にとって、ものづくり技術経営学(MOT)は、農学の世界よりも魅力を感じ、本能的に新しい出会いを求めて行動したように思います。
 MOTとの最初の出会いは、宇佐美先生との繋がりで。以前(平成16年)から、専門派遣事業でマーケティングのコンサルをお願いしていますが、M社へ一緒に相談活動を行った時に知りました。
 あとは、家族、特に妻の理解(学費と時間)があり、MOTに入学することができました。

入学して苦労したことは？

入学して苦労したことは、時間と自分の気持ちとの戦いです。
 普段の仕事と家族との時間に加え、MOTへの通学と勉強は寝る時間を調整するしかなく、徹夜の日も何回もありました。また、身内に不幸があったり、家族が手術入院したりと気持ち折れそうになりましたが、野田先生のアドバイスもあり、自然に受け入れることができ、優先順位を決めて対応することができました。不思議と苦痛に感じることがありませんでした。

今は、マスターを修了しドクターコース(志村先生のゼミ)で学んでいます。時間の調整術が身に付き、日常的に実行しています。

MOTの実践事例は？

入学してすぐに、ネットワークが広がりました。白澤氏(二期生)の紹介から、同じ考えを持つアイデア総研(旧、荘銀総研)と繋がり、次代のアグリビジネスを担う「6次産業の人材育成事業」をコンソーシアム形態で平成20年夏にスタートしました。
 21年の秋には追い風が吹き、政権交代の影響で6次産業という言葉が使われるようになり、22年11月26日には「6次産業化法」が成立し、今年の4月からは具体的な関連事業が国策として実施されます。

人材育成事業は3年目、「やまがた6次産業ビジネススクール」は実施2年目となりました。1年目のスクール修了生の3割は具体的な新事業に取組んでおり、希望の芽が顔を出しつつあります。また、PPP問題を含め、いままでのルールが通用しないグローバル化の新時代を迎え、農業もイノベーション(価値革新)による新たな産業へ発展移行できるように実践していく計画です。

後輩へ一言

- ・ゴールオリエンテッドが重要です。
- ・何をやるにも目的意識と明確な目標設定
- ・何のためにやるのか？
- ・あるべき姿、理想像から現状を照らしてみる
- ・出会いとネットワークが重要です。
- ・楽しいことにフォーカスする
- ・出会いとネットワークが、新しい世界を創っていく

産学官連携事例紹介

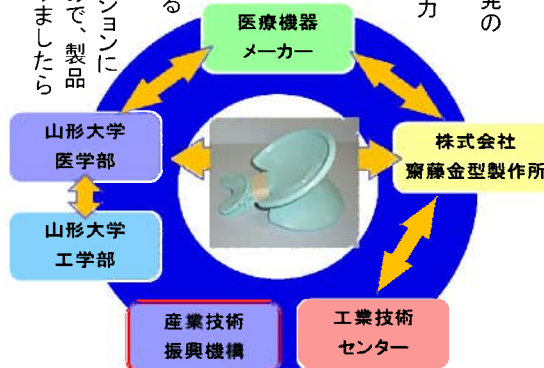
「開口訓練器の開発」

MOT2期生 江口幸也

(財)山形県産業技術振興機構で産学官連携活動に従事しております。
 産学官連携・医工連携での商品開発の事例を紹介します。

発端は医学部の先生からの開発協力依頼でしたが、工業技術センターと相談しながら連携希望企業を探索、長井市にある齋藤金型製作所と連携し開発をスタートしました。
 競争的資金を獲得しながら活動を進め、市場に出せるものが完成。
 販売企業とも連携し薬事法に対応すべく支援し、今年度中に販売できるよう活動中です。

国の政策としても、ライフイノベーションに関する支援が強化されており、製品開発や資金獲得などのご要望がありましたらお声掛け下さい。



「コーヒープレークでこんにちは！」

バン・カム・タンさん MOT(とうほくMITRAI)コース

ベトナムからの国費留学で山形大学に留学。ベトナムでの専攻は機械工学、日本で経営学を学びマルチなエンジニアとして、日本とベトナムの架け橋となることが夢だそう。
 英語も日本語も流暢で、とても優秀にもかかわらず気さくな青年。日本人にボランティアでベトナム語を教えているそうです。
 趣味は、水泳、ジョギング、サッカー。
 「目標にむかって共に取り組み喜びを分かち合うことが好き」と、笑顔で語って下さいました。

(インタビュアー：黒田三佳 編集委員)



《第6回イブニングサロン開催》

去る11月27日(土)、第6回イブニングサロンを山形大学国際事業化研究センター・セミナーホール(3階)にて開催致しました。先生方、学生、OB、企業から約30名の御参加を頂き、楽しい雰囲気の中で有意義な時間を過ごすことが出来ました。

① 超高級オーディオシステム機器の紹介と音とのつきあい(ウエイバックオーディオ株式会社) 社長 伊藤 譲氏
 ② 最新無錫事情(山形県企業振興公社 M1 奥山 泰宏氏)
 ③ 総括(山形大学大学院理工学研究科 小野 浩幸氏他)の方々から発表を頂き、活発な情報交換が行われました。
 是非次回も、大勢の皆様の御参加を御待ち致しております。



渡邊会長の挨拶



伊藤 譲 講師と司会の斉藤真幸氏



奥山 泰宏 講師



サロン会場風景

最新中国・無錫事情(奥山氏)

中国華東地域ビジネスミッション(経産省H21年度地域産業集積海外展開支援事業)H22年11月10日～14日

■参加者 東北経済産業局、東経連事業化センター、山形県、山形県企業振興公社、山形大学、16企業

■見学先 錫通科技グループ有限公司・インプロ(中国)有限公司・大東精密機械有限公司・嘉友联精密機械工程有限公司



↑ ミレニアム無錫での交流会(11/12)



← 大東精密機械有限公司
(金型をコア技術として精密成形が強み)

↓ 嘉友联精密機械工程有限公司
(通信デバイスの製造メーカー、マイクロ波通信コンポーネント、OA精密部品。取引の90%は海外)



インプロ(中国)有限公司と加工部品



この事業は、「財団法人東北活性化センター」の補助を受けて実施しております。



← 穏やかな笑顔の伊藤社長

- ・1995年、中小企業庁長官賞受賞
1995年、96年、通商産業省グッドデザイン賞受賞
- ・翌年より、USA Winter CSE他に毎年出展、数々の名誉ある賞を受賞
- ・海外39ヶ国に販売拠点



HE-805
Directly heated Triode Single Ended Stereo Power Amplifier

プレイボーイ紙に掲載された、あなたはアウトドア派？、それともインドア派？数千万円のランボルギーニ・カウンタックとの比較記事 SA 2005



→ マレーシアのユーザー宅で

私の人生のキーワード 「音楽」と「ものづくり」

- ◆ミュージシャンを目指した時代(10代)
 - 音楽を作る…作曲・編曲
- ◆音楽との接点を持ちながらのビジネスを目指した時代(20代～40代前半)
 - 音楽を伝える企画を創る…舞台・イベント
- ◆挫折と出会いで自分自身の未知との遭遇
 - 音楽を聴くための装置を造る…オーディオアンプ

プロジェクトの目的

- ・懐古的な真空管アンプを作るのではなく現代の低能率のスピーカーを楽々と鳴らせるアンプであること…出力が大きいこと
- ・見て楽しめて(趣味性が高いこと)音がよいこと(周波数帯域が広いこと)



2006 MD805 納入実績 マレーシア



「音楽と、ものづくりの人生」・「挫折と出会いの人生」・そして超高級オーディオアンプを肩に、世界を飛び回る男の情熱の物語でした。米沢にも海外を販路にする、ニュービジネス(富裕層・音響マニアをターゲット)の企業が存在します。

MOT 広場

イベントサロンで御講演を頂きました、伊藤社長(株)ウェイバック・オーディオラボ)の御了解を得て、抜粋資料を掲載致します。

MOT 事務局 便り

MOT事務局より、大学の動きやMOT専攻に関わる情報をお知らせ致します。

■ものづくり技術経営学専攻(MOT)、社会人特別選抜入学説明会が開催されます。会社関係・知人の方々に是非御紹介下さい。

①山形会場「プロセス革新のための産学連携セミナー」

日時・平成23年2月17日(木) 14時30分～17時00分

場所・山形国際ホテル

講師・山形大学大学院理工学研究科教授 小野 浩幸

②置賜会場「ITを活用した経営力強化セミナー」

日時・平成23年1月21日(金) 18時00分～20時00分

場所・グランドホクヨウ米沢

講師・山形大学大学院理工学研究科准教授 綾部 誠

③最上会場「最上夜学」

日時・平成23年1月31日(月) 18時00分～20時30分

場所・最上広域交流センター

講師・山形大学大学院理工学研究科教授 高橋 幸司

④福島会場「ものづくり技術経営学専攻とは」

日時・平成23年1月13日(木) 15時00分～16時30分

場所・コラッセふくしまにて開催致しました。

■平成22年度3月修了予定者修士学位論文公聴会

日時・2月19日(土) 9時～

場所・4号館中示範A

なお、当日在校生主催による「追い出しコンパ」が予定されております。是非、学生・OB・教員の皆様の御参加を御願致します。(詳細は後日別途)

■もつとみらいコンソーシアム定期総会

日時・3月7日(月) 14時30分～

場所・東京第一ホテル米沢

■平成22年度学位記授与式

日時・3月21日(月)

場所・米沢市体育館及びグランドホクヨウ米沢

(MOT事務局)

《編集後記》

例年通りの寒波の襲来で、米沢も米沢らしい雪のシーズンを迎えました。雪との闘いは恒例とも言えますが、克雪・利雪・共雪等々、雪との生活をもう少し快適化したいものです。

追い出しコンパのニュースも流れる時期となり、2年生の皆様も最後の追い込みに掛かっておられることと思います。

どうぞ悔いの無い学生生活をお送り下さい！

新年を迎えられて、また新しい目標に向かって、お互いに挑戦をしましょう！ (編集委員一同)